

第 1 0 0 4 回教育委員会会議録概要

1 日 時 平成 2 6 年 6 月 1 0 日（火）午後 3 時 0 0 分～

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 川畑委員長 吉井委員 清川委員 小泉委員 西野委員 林教育長
国久企画幹 三田村企画幹（学校教育） 松田企画幹（高校改革）
上野企画幹（義務教育） 穴吹教育振興課長 田中高校教育課長
古谷高志高校校長

4 議 題

日程第 1 第 1 4 号議案 平成 2 7 年度使用義務教育諸学校教科用図書採択についての
基準、選定資料および採択目録の決定について

5 審議事項

（１）開会宣告 午後 3 時 0 0 分

（２）会議録署名人の指名 清川委員 小泉委員

（３）議事要録

委員長 本日の日程第 1、第 1 4 号議案および協議事項の 1 ならびに報告事項の
1 について非公開といたしたい旨発議

———当該議案を非公開と決定———

委員長 日程第 1、第 1 4 号議案を議題

企画幹（義務教育）、高校教育課長 資料に基づき説明

委員長 義務教育関係の教科用図書は、4 年間分を採択する流れになるとの説明
であったが、高校の場合はどうか。

高校教育課長 毎年、次年度に使用する教科書を採択する。

吉井委員 採択地区を構成する市町について、嶺南地区は 6 市町で構成されている
ので、結論を導くまで大変ではないかと思う。

教育長 法改正がなされ、今年度から市町ごとの採択が可能になったが、市町の
意向を聞いた結果、従来どおりの地区構成となった。

委員長 小中学校で、教科書以外に副読本は使用しているのか。

企画幹（義務教育） 教科についての副読本はないが、ドリルなどの問題集は使用している。

委員長 第 14 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

———原案どおり可決———

◎協議・報告事項

協議事項

（１）併設型中高一貫教育の実施に向けた高志中学校の開校準備について

清川委員 ３年間で３５０時間の授業時間数を増加するということだが、代わりに何か減るものがあるのか。

高志高校長 減るものはない。週３日程度、７時限目まで行うことを考えている。

清川委員 カリキュラム上、問題はないのか。

高志高校長 併設型中高一貫の場合は、かなり弾力的な運用ができる。

清川委員 部活動の時間が減るのか。また、中学と高校で一緒に活動するのか。

高志高校長 中学と高校の部活動の開始時間は、同じとすることを考えている。文化部や運動部の一部は高校生と一緒に活動することができるが、例えばバスケットボールなどは、安全面から考えて難しいと思われる。

委員長 出願資格について、外国人や県外の生徒はどうなるのか。また、嶺南等の遠方の生徒のために、寮を作る考えはないのか。

高校教育課長 外国籍の生徒については、通常の出願資格と同じであるが、県外の生徒については、保護者とともに福井県に居住する場合は出願可能である。また、通学してもらうことを前提としており、寮を作ることについては難しいと考える。

委員長 男女枠は設けないのか。

高校教育課長 本県の場合、平成１０年に県立高校の男女枠を撤廃しており、難しいと考える。

委員長 浪人して入学することはできるのか。

教育長 制度上、できない。

報告事項

（１）平成２７年度福井県公立学校教員採用選考試験の応募状況について

清川委員 中学、高校とも国語の倍率が低いが、理由があるのか。

企画幹（高校改革） 現段階では、詳しく分析を行っていないことや、他県の状況も出揃っていない状況であるため、あらためて報告する。

吉井委員 特別支援学校に、特別支援の免許を持たない教員がいると聞くが、状況はどうであるか。

高校教育課長 特別支援学校においては、教科を教える教員も必要であり、特別支援の免許を持たない教員がいることは事実であるが、できるだけ免許を持つ教員を配置したいと考えている。

西野委員 中高保健体育の倍率が非常に高いが、国体と関係あるのか。

企画幹（高校改革） 国体関係については、スポーツ特別選考が該当する。中高保健体育については、昨年度も高倍率であった。

委員長 本日の会議の終了を宣告